

# 年表で見る 60年の歩み

サンネット(中国計算センター)が誕生して今日まで60年の間に  
社内も、業界も、社会全体も、私たちを取り巻く環境は劇的に変化してきました。  
自分が知らない時代も、自分の歩みと重なる時代も、あらためて振り返ってみてください。

1962 (昭和37)年	11月	— (株)中国計算センター創業(11月15日) 創業者秋山九朗 資本金500万円 内海義雄が代表取締役社長就任
	12月	— コンピュータNEAC2203導入
1963 (昭和38)年	9月	— 大口受託第1号として呉造船所に橋梁設計 計算業務納入
	11月	— 秋山九朗が代表取締役社長就任
1967 (昭和42)年	10月	— 資本金1千万円に増資 日本電気(株)と業務提携締結
1968 (昭和43)年	1月	— 本社事務所を広島市中区袋町の 東京生命ビル(現 和光広島ビル)に移転
		— NEAC2200シリーズモデル200導入
	7月	— 尾道市役所から業務受託(自治体から初受注)
1969 (昭和44)年	8月	— シンボルマーク制定
		— 7期(昭和43年9月～昭和44年8月)売上1億円突破
1970 (昭和45)年	2月	— 穿孔事業部発足、富国生命ビルにて業務開始
1972 (昭和47)年	5月	— 政府委託による特定プログラムCOBOL・フローチャーター 開発を受託
	9月	— NEAC関連センター協業化協定調印
	11月	— 創立10周年記念式典・祝賀会開催
1974 (昭和49)年	4月	— 事業拡大のためオフコン機器販売事業開始
1976 (昭和51)年	4月	— 秋山九朗が日本情報センター協会・中四国九州地区 常任理事就任
	5月	— 秋山九朗がNEAC情報処理サービス事業グループ 副会長就任
1978 (昭和53)年	9月	— 当社初のオンライン端末N6240設置
	10月	— 地域の情報化促進貢献企業として 通商産業大臣表彰受賞



NEAC2203導入  
(昭和37年12月)



創業者秋山九朗  
(昭和39年5月)



電算室風景  
(昭和40年代中頃)



創立10周年記念式典・祝賀会  
(昭和47年11月)

1979 (昭和54)年	2月	— ウツミ屋証券の全店オンラインシステム開通
1980 (昭和55)年	10月	— ACOSシステム350導入
1981 (昭和56)年	4月	— マイコン事業が目的の(株)日本アステック設立
1982 (昭和57)年	2月	— 情報処理産業厚生年金基金発足に伴い加入
	10月	— 家族を招き創立20周年記念運動会開催
1983 (昭和58)年	12月	— 広島フコク生命ビルが完成し、本社事務所を移転
1984 (昭和59)年	3月	— 全国初の球場発券業務システムを広島東洋カープより 受注、本格稼働
1985 (昭和60)年	3月	— 情報処理サービス業電子計算機システム安全対策 実施事業所として通商産業大臣より認定
	4月	— 保守センター開設、自営保守事業立ち上げ
	6月	— 増資決定、新資本金6千万円
1986 (昭和61)年	2月	— NEC-VANサービスとしてマシン室にN4770導入
	9月	— 中国四川省からコンピュータ技術研修員として、 曹暢橋氏受け入れ
1987 (昭和62)年	5月	— 秋山九朗が代表取締役会長就任 副社長三谷喜八郎が代表取締役社長就任
	6月	— 広島日本赤十字病院の医療システムに内定
	11月	— 創立25周年記念式典・祝賀会開催(広島全日空ホテル)
1988 (昭和63)年	4月	— 重度身体障害者多数雇用モデル企業 (株)広島情報シンフォニーを広島県、広島市と 第3セクター方式で設立
1989 (平成元年)年	1月	— 当社初のCOKAS-1が福富町で稼働
1992 (平成4)年	4月	— (株)中国計算センターから(株)中国サンネットに社名変更
	7月	— 広島情報シンフォニーに天皇陛下(当時皇太子殿下) の行啓を賜る
1993 (平成5)年	7月	— NEC情報サービス(株)取締役関西支社長一瀬敬二が 代表取締役社長就任
	10月	— 秋山九朗が情報化促進貢献個人通商産業大臣表彰受賞
1995 (平成7)年	9月	— 戸河内町より初のオープンシステムCOKAS-N受注
1996 (平成8)年	2月	— 東京営業所を東京支社に、山口営業所を山口支社に昇格
1997 (平成9)年	4月	— 当社初のクライアントサーバ型医事システムが 国立福山病院で稼働
	10月	— 関西支社・山陰支社開設



ACOS350導入  
(昭和55年10月)



広島市民球場発券システム稼働  
(昭和59年3月)



三谷社長就任  
(昭和62年5月)



広島情報シンフォニー設立  
(昭和63年4月)



皇太子殿下行啓  
(平成4年7月)



一瀬社長就任  
(平成5年)

1962 — 1998  
昭和37年 — 平成10年

1999 (平成11)年	4月	— 国土交通省地方整備局(全国9機関)の人事・給与・厚生システムが本稼働し、約2万2千人の職員人事給与を運用
	12月	— ISO9001(品質マネジメントシステムQMS)認証取得
2000 (平成12)年	10月	— 本部制から事業部制に組織変更
2001 (平成13)年	5月	— NECメディカルシステム(株)代表取締役社長山本克己が代表取締役社長就任
	10月	— 3年先までの事業計画を策定する中期実行計画会議開始(以降毎年1回開催)
2002 (平成14)年	11月	— 創立40周年記念式典・祝賀会開催(広島厚生年金会館)
2003 (平成15)年	8月	— ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステムISMS)認証取得
2006 (平成18)年	6月	— プライバシーマーク取得
2007 (平成19)年	6月	— 日本電気(株)関西製造・プロセス営業事業部長亀山創が代表取締役社長就任
	11月	— 創立45周年記念式典・祝賀会開催(ANAクラウンプラザホテル広島)
2008 (平成20)年	8月	— 中国サンネット創立45周年、広島情報シンフォニー創立20周年記念「広響夕涼みコンサート感謝の夕べ」開催(広島国際会議場フェニックスホール)
	10月	— 50周年ビジョン「CSNo.1、ES No.1、Technology No.1」発表
2009 (平成21)年	5月	— 創業者秋山九朗永眠(5月6日)
	6月	— 秋山九朗お別れの会開催(6月16日)
2012 (平成24)年	11月	— 創立50周年記念式典・祝賀会開催(ANAクラウンプラザホテル広島)
2013 (平成25)年	4月	— (株)中国サンネットから(株)サンネットに社名変更
	—	— 50周年ビジョン「CSNo.1、ES No.1、Technology No.1」を目指して、事業部と支社のグループで活動するチャレンジ55キャンペーン開始、2016年度まで毎年活動し大きな成果を挙げる
2014 (平成26)年	4月	— 情報セキュリティ事業の専門部署として情報セキュリティ研究室開設
2016 (平成28)年	4月	— 社員の健康維持、増進を目的に健康相談室開設
2017 (平成29)年	3月	— オフィス改革・ワークスタイル改革プロジェクト「Innovative Office Towards 60th(IOT60)」立ち上げ、社員の生産性・モチベーション向上のため「空間」「ネットワーク」「稟議・手続き」「ワークスタイル」「情報共有・コミュニケーション」をテーマに活動



山本社長就任  
(平成13年5月)



亀山社長就任  
(平成19年6月)



広響夕涼みコンサート感謝の夕べ開催  
(平成20年8月)



秋山九朗お別れの会  
(平成21年6月)



創立50周年記念式典・祝賀会  
(平成24年11月)

2017 (平成29)年	—	— 本社フロアリニューアルにより、フリーアドレス化、ペーパーレス化、デジタルアーカイブ化、ペーパーストックスマール化等働きやすい職場環境構築
	—	— 創立55周年記念事業で国内外数箇所に社員旅行
2018 (平成30)年	4月	— DX・技術革新の専門部署として技術開発センター開設
	6月	— 日本電気(株)エンタープライズBU理事 山口隆法が代表取締役社長就任
	12月	— 広島市立大学全学共通科目「広島の産業と技術(ソフトウェア開発)」の講義を担当(以降毎年開講)
2019 (平成31)年	4月	— 働き方改革・健康経営推進 社員の健康維持・増進の一環でスマートバンド配布 健康増進サービスWeRUN販売開始
	—	— 高度な技術を持つ人材の育成と活躍促進のため、プロフェッショナル認定制度制定
	—	— 地域医療機能推進機構(全国57病院)の人事・給与システムが本稼働し、約2万8千人の職員人事給与を運用
2020 (令和2)年	2月	— 広島県働き方改革実践企業に認定
	3月	— 新型コロナウイルス感染症拡大と緊急事態宣言を受け、全社的な感染防止のため新型コロナウイルス感染症対策本部設置、在宅勤務やオンライン会議等新しい働き方を整備
	4月	— 新入社員研修の一環として清掃活動スタート(以降毎年実施)
	—	— コロナ禍によりフェアやセミナーのリアル開催ができず、ウェビナーを多数開催
2021 (令和3)年	3月	— 経済産業省と厚生労働省が主催する健康経営優良法人に認定
	4月	— 全社的なDX人材育成と事業化に向け、DX推進プロジェクトスタート
	—	— お客さまにとってのプラットフォームを目指し、サービスイノベーション事業部設立
	8月	— コロナ禍でのオンラインイベント開催やリモート対応エリア増床のため、本社別館(広島三井ビルディング)開設
	9月	— コロナ禍のコミュニケーションツールとして、スマートフォンを全社員に配布
2022 (令和4)年	10月	— 創業60周年を前に、新たな経営ビジョン2027策定、発表
	11月	— 創業60周年記念祝賀会開催(11月17日)



山口社長就任  
(平成30年6月)



広島県働き方改革実践企業  
認定証授与式の様子  
(令和2年2月)



新入社員クリーンボランティア  
(令和3年5月)



創業60周年祝賀会  
(令和4年11月)